記　者　発　表

平成２６年１１月２６日
国　土　交　通　省
東 北 技 術 事 務 所

応急組立橋の架設訓練を実施します
～災害時の輸送経路確保～

東北技術事務所では、東日本大震災の経験から導入した応急組立橋について、架設訓練を実施します。

「応急組立橋」は、地震および洪水等により被災した道路や橋梁に代わり、現地で組立出来る仮設橋で、緊急車両や災害対策車等の輸送路を確保する重要な役割を担っています。（別紙－１）

架設訓練は、応急組立橋の出動に備え、架設手順の習得や習熟を図るために行うものです。

１．日　時：平成２６年１２月　２日（火）　９：３０～１０：３０

※架設訓練は、１２月１日～２日の２日間で実施しますが、上記時間においてクレーンを使用した主構の架設を予定しています。

なお、訓練に使用する応急組立橋は、東日本大震災の経験を踏まえ、緊急車両を早急に通行させるべく平成２４年度に導入したものです。（別紙－２）

２．場　所：東北技術事務所構内（別紙－３）

※見学を希望される方はヘルメットを準備しますので、問い合わせ先まで連絡をお願いします。

なお、強風等の影響により訓練を中止することがあります。

発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会

問い合わせ先
国土交通省　東北技術事務所
住　所：多賀城市桜木三丁目６－１
ＴＥＬ：０２２－３６５－８１５８（代表）
副所長（機械）　狩野　武志
防災・技術課長　佐藤　信之

別紙－１

災害での応急組立橋使用例

１．東日本大震災

岩手県陸前高田市　一般国道45号　川原橋



架設状況

完　成



２．宮城岩手内陸地震

岩手県一関市　一般国道３４２号　市野々原地区



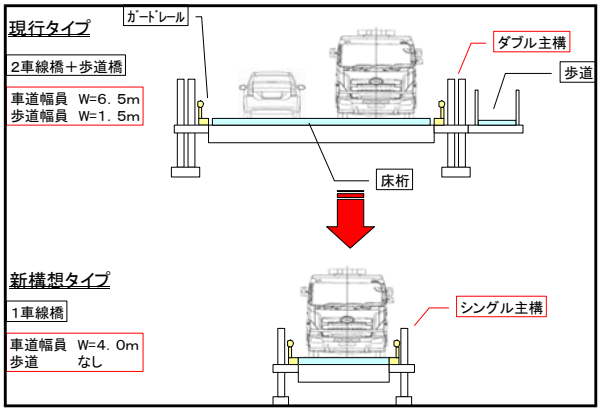
架設状況

完　成

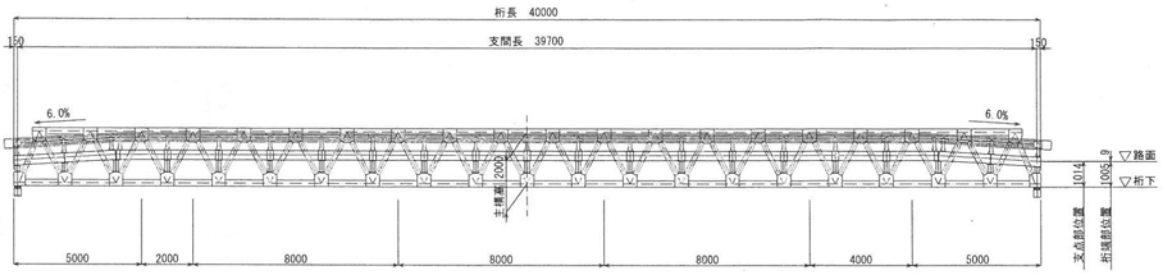


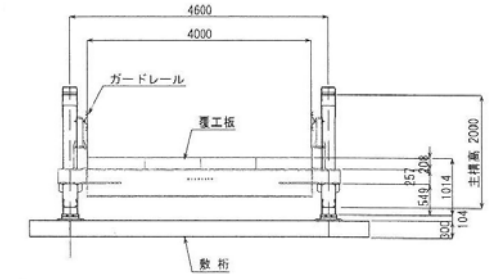
別紙－２

応急組立組立橋の概要









形　　式	単純下路式組立ワーレントラス橋
桁　　長	４０．０ｍ １０ｍから２ｍごとに４０ｍ 取付桁（１４ｍ×２）
車道幅員	４．０ｍ（車道）
主構高さ	２．０ｍ
設計荷重	Ｂ活荷重

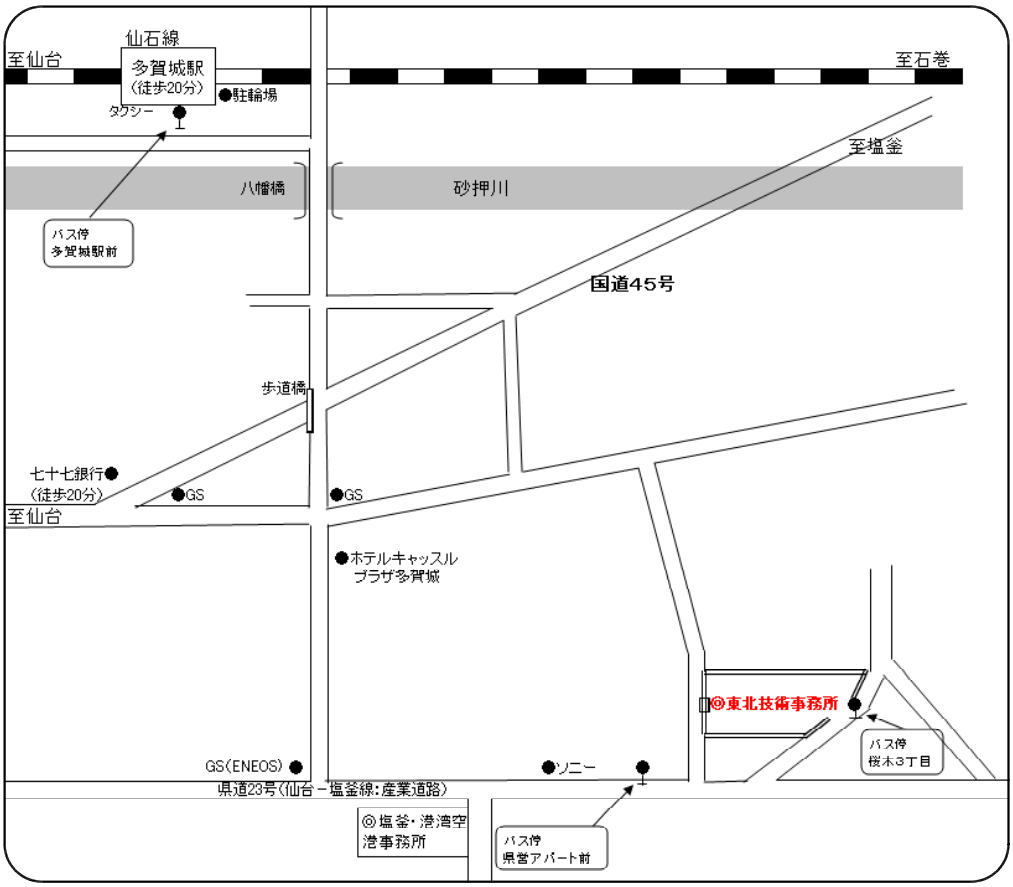
・幅を１車線確保（４ｍ）とし、主要部材を軽量化して、架設時間の短縮を計りました。
・全部材を一般に多くある１１ｔ平積みトラックに載るように設計しました。
・主たる構造部分に使われる組立ボルトは全て同一としました。
・覆工板も大型化（２ｍ×２ｍ）し、架設時間の短縮を計りました。

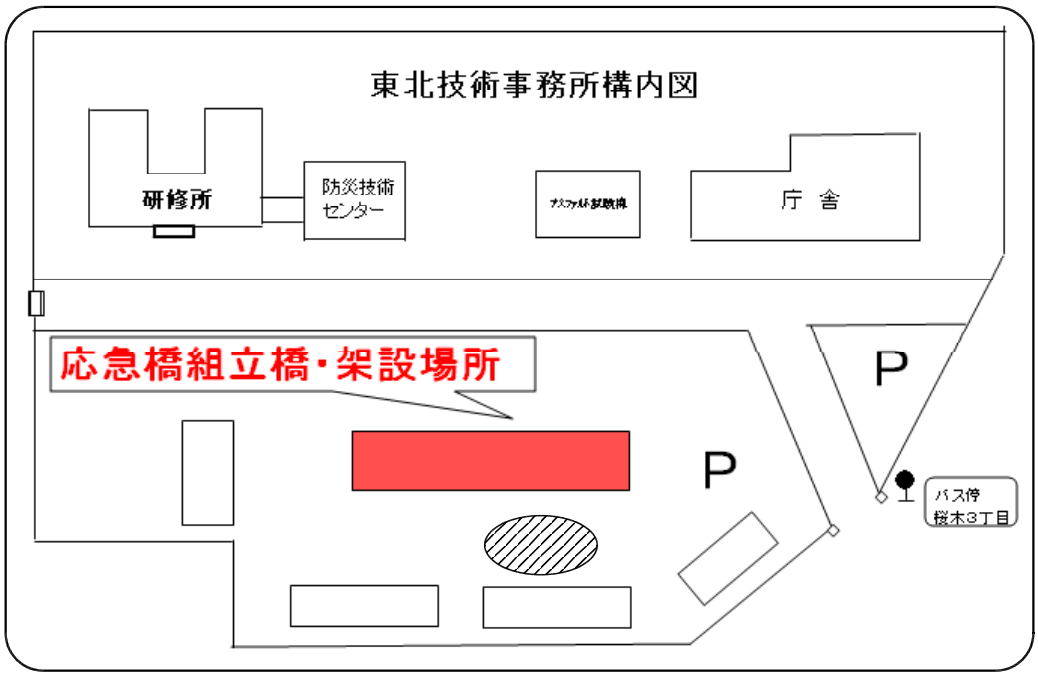
別紙－３

交通アクセス

・ＪＲ仙石線の多賀城駅から徒歩２０分、車で１０分

・バスは宮城交通七ヶ浜方面乗車、桜木三丁目下車徒歩３分。





見学場所